

日蓮聖人門連だより

発行

日蓮聖人門下連合会

〒146-8544
東京都大田区池上1-32-15
電話 (03) 3751-7181
https://nichiren-monka.org

令和4年2月16日
第65号

日蓮聖人門下連合会京都理事会 並びに 日蓮聖人御降誕八〇〇年慶讃結願法要開催さる

令和三年十一月十八日 田中日淳貫首猥下大導師のもと、日蓮聖人門下連合会京都理事会並びに日蓮聖人御降誕八〇〇年慶讃結願法要が日蓮宗本山頂妙寺において開催され、全門連及び京都門下連合会各聖各位、大阪門下連合理事長等、計四十七名が出席した。

午後二時、日蓮聖人御降誕八〇〇年慶讃結願法要が開式。会場寺院である頂妙寺の（機関誌「門連だより」合本）理事長より結願文が奉読され、平成二十八年より実施した門下連合会各種慶讃事業と聖人への報恩の誠を捧ぐ意向が読み上げられた。

続いて田中日淳猥下より、日蓮聖人御降誕八〇〇年の慶讃と聖人への報恩の誠を捧ぐ意向が読み上げられた。

その後、議題に沿った事務局より上半期の事業報告、京都門下連合会、大阪門下連合会よりそれぞれの活動が報告され、続いて日蓮聖人御降誕八〇〇年記念慶讃事業について、事務局より進捗状況が報告された。

午後四時三十分閉会。例年、理事会後に催される懇親会は新型コロナウイルスの影響を鑑み、中止となった。次回開催は顕本法華宗総本山妙満寺を予定している。



令和3年11月18日
日蓮聖人御降誕八〇〇年慶讃結願法要並京都理事会 於：頂妙寺



結願文を奉読する
中川法政理事長



回向文を読み上げる田中日淳猥下

法要後、本堂正面にて写真撮影。

小休の後、田中日淳猥下による『頂妙寺の沿革』についての講話が行われ、頂妙寺の歴史等の詳細な説明をいただいた。

午後三時三十分より、中川法政理事長が座長となり理事会が開会。開会に先立ち中川理事長より令和三年十一月十三日にご遷化された法華宗（本門流）二瓶海照宗務総長（門下連合会常任理事）の増円妙道を祈り、玄題三唱がなされた。

その後、議題に沿った事務局より上半期の事業報告、京都門下連合会、大阪門下連合会よりそれぞれの活動が報告され、続いて日蓮聖人御降誕八〇〇年記念慶讃事業について、事務局より進捗状況が報告された。

結願文

日蓮聖人御降誕八〇〇年慶讃結願法要

靈山一會嚴然未散南無久遠實成本師釈迦牟尼佛、南無平等大慧一乘妙法蓮華經、南無本化上行高祖日蓮大菩薩、門下代々如法熱功の先師先哲等、証知照鑑の御前に於いて、本日吉辰をとし恭しく日蓮聖人門下連合会「日蓮聖人御降誕八百年記念慶讃事業」結願の式典を挙ぐ。

伏して惟るに、高祖日蓮大聖人の末弟たる我等が使命は、「立正安国」の顕現の他あるべからず。文応元年、日蓮大聖人「立正安国論」を奏進せられてより、星霜を経ること七百六十二年、此の間、数多の先師等によって連綿と紡がれたる布教興学の歴史は、唯只管に高祖の心願達成を目指して歩みたる門下の足跡あるのみ。

昭和三十五年、祖廟を中心とし日蓮大聖人門下各派及び教団の大同団結を目指し、日蓮聖人門下連合会を結成す。爾來、宗旨一致、弘通中心の宗旨を充実に、正法宣揚の大旗を揮かさんと、数多の事業に尽瘁す。これ即ち、現代社会に於いて、民族・国家・宗教の壁を越え、御題目を広く世界に弘通し、「立正安国・四海帰妙」の御教を体現せんとする我等門下末弟の本化菩薩行なり。

「日蓮聖人御降誕八百年」を迎えるに当たり、平成二十七年門下連合会をあげて慶讃、報恩の誠を捧ぐ為、各種慶讃事業を策定し、翌二十八年より実施す。

茲にその足跡の一端を述べれば、機関誌「門連だより」合本の作成、「門下連合会」ホームページの作成、嵐圭史氏による「日蓮聖人御遺文朗読劇」上演、中国西安草堂寺結集、草堂寺経石碑奉納、即ち是なり。

今、當に知るべし、此等の事業は、我等門下連合会の歴史を顕彰し、社会に対し広く知らしめることで、信仰の増進・御題目との新たな結縁を実現、以て大聖人への報恩の誠を捧ぐ浄業なり。此の盛典にて結願文を奉読するの仏縁に巡り合わせ、大聖人の娑婆世界に降誕し給ひし深甚なる因縁に思いを馳する時、昏迷せる世間を教主釈尊より賜りし法華の明鏡に照鑑し、惑乱せる衆生を高祖大聖人の遺されし題目の大船に搭乗せしむるこそ、立正安国の玄意深趣ならんと欲す。

我等が生きる今この時は、久遠無窮の時の流れに比すれば大河の一滴にすぎず。然れども、この一滴こそ永劫の未来へと大聖人の願業を繋ぐものなりと確信す。その一滴には、本日の盛儀を迎えること能わずに化を他に遷された、先師・先輩・同輩・後輩諸聖人の魂の祈りを包含す。数多の祈りと共に我等門下連合会の結束を次世代へと継承することを誓願し、以て来たるべき立正安国達成の本時を今たらしめんことを祈念せん。

仰ぎ願くは、高祖日蓮大聖人、我等が熱誠を盡くして実施せる、御降誕八百年慶讃事業の既に成れるを嘉納し、未だ成らざるを完遂せしめ給え。併せて祈る、仏祖三寶照鑑を垂れ給いて我等末代門下の昏睡を醒まし、大聖人の真髓を諸人群生に結縁ならしめ給わんことを。

正法興隆 国土安穩 末法萬年 広宣流布
南無妙法蓮華經

維時 令和三年十一月十八日

日蓮聖人門下連合会理事長

中川法政

從地ゆじゆつ

◆仏教思想研究家の植木雅俊氏が「日蓮の手紙」を上梓、同著はNHKの「100分de名著」でも取り上げられた。

◆日蓮聖人の降誕から満八百年。この勝縁に聖人の慈悲に溢れたご消息が広く紹介されたことを心から尊く、有難く感じている。

◆民放連の定める放送基準には「宗教の自由の否定、他宗教の誹謗中傷」を禁じる文言があり、近年は「日蓮は他宗を批判するため扱えない」という不文律があった。植木氏の「日蓮の手紙」には弱い立場に置かれた人びと、愛する人を失った者、病気の人が、職場で孤立しリストラの危機に陥る者、丁寧に心構えを対処法を伝える人間味が溢れた日蓮聖人の実像が示されている。この書を読めば、独善的で偏狭という誤ったイメージは払拭されるに違いない。

◆植木氏は「日蓮聖人は法華經のサンスクリット語原典を讀んでいたか」と語っている。法華經には「原点に還れ」という仏教界を再生させる意志や思想が内包されており、日蓮聖人も生涯の全てを仏教再生、仏教ルネサンスのために捧げた。本仏釈尊と上行菩薩。その目的は完全に一致している。

◆八百年の慶讃で賑わうはずの境内はコロナ禍にかき消された。しかし、これも「正しい仏法に還れ」という久遠からのサインと受け止めていく。本化上行の流類、門下の子弟の責任は重い。

◆不登校の小中学生、自殺した児童生徒も過去最多。青年層の死因の第一位は自殺。私たちの社会は危機に瀕している。強い危機感と揺るぎない意志、慈悲の心を発露して、今こそ聖人の不軽行を継承、実践しなければならない。

◆全国の宗教法人はATMより多く、僧侶は警察官よりも多い。仏教の再生は社会の再生に直結する。世のため、人のために、仏教ルネサンスを夢みて聖人の真意や真価を伝えてゆきたい。(長松)

『鎌倉日蓮堂』完成さる

令和三年十二月九日(木)、神奈川県鎌倉市にて「鎌倉日蓮堂」の落慶式が中川法政日蓮宗宗務総長を大導師に厳修された。

日蓮宗が平成二十一年に



平成二十八年には新たに「鎌倉教拠点建設検討委員会」を設置し、以来、建築計画の検討が重ねられた。委員会で六角堂の御堂に日蓮聖人ご尊像をご安置し、後方には多目的ホールを備えた建物を建築することが決定し、『鎌倉日蓮堂』と命名された。令和三年六月二十三日に地鎮式が執り行われ、翌二十四日より着工された。



鎌倉 日蓮堂

設計には椎名純建築設計事務所より建築家椎名純氏を迎え、施工を松井建設株式会社に選定。また、ご奉安された日蓮聖人ご尊像は総本山身延山のご霊木を用い、柳本伊左雄氏(身延山大学特任教授)により制作された。式中には来賓を代表して国柱会賽主 田中壮谷氏より「大聖人御降誕八〇〇年

を迎えたこの年に『日蓮堂』が落慶いたしましたことは、正に時と機が熟したものであり、誠に喜ばしく、皆様と共に参列できたことに厚く御礼を申し上げます。

国柱会としても、この辻

説法跡地を世界平和の発信基地として、私たちの本分である『一天四海皆帰妙法』の願行成就に向かい、皆様と協力し、共に邁進していきたい。」と祝辞が述べられた。



中川宗務総長による謝辞



国柱会 田中壮谷賽主による祝辞

た。

また、中川法政宗務総長は「平成二十一年、宗祖布

教の聖地である此の地を取

『まんが日蓮さま』刊行

令和三年十月十三日、宗

祖日蓮大聖人御会式にあわ

せ、『まんが日蓮さま』が法

華宗(本門流)より刊行さ

れた。宗祖日蓮大聖人聖誕

八〇〇年記念事業の一環と

して、宗門機関誌『無上道』

において十二回に亘り連載

し、好評を得ていた大聖人

の一代記が単行本化された

ものとなっている。

かつて本門流では、大聖

人七〇〇遠忌を記念して学

習マンガが刊行されたがそ

れ以来、五十年ぶりの作成、

発刊となった。原作は、元

法華宗興隆学林学林長の三

浦日脩先生による『日蓮聖

正に万感胸に迫る思いであ

ります。

此処に、鎌倉日蓮堂建設

事業に関わる全ての皆様の、

深いご理解とご協力に衷心

より感謝申し上げます。」と

謝辞を述べられた。

超え、遂にこの浄行を形に

謝辞を述べられた。

人略伝』。脚本・脚色を『無

上道』編集部員が行い、作

画は牧之原市本唱寺住職、

松原宏宣師が担当。全てを

法華宗僧侶の手によって作

り上げた異例の作である。

内容は聖誕から立教開宗、

数々の法難、弟子・檀越の

教化、御入滅まで、時に笑い、

時に涙し、時に大音声で教

化する大聖人の様子を力強

く描いたものとなっている。

本門流に伝わるエピソードも

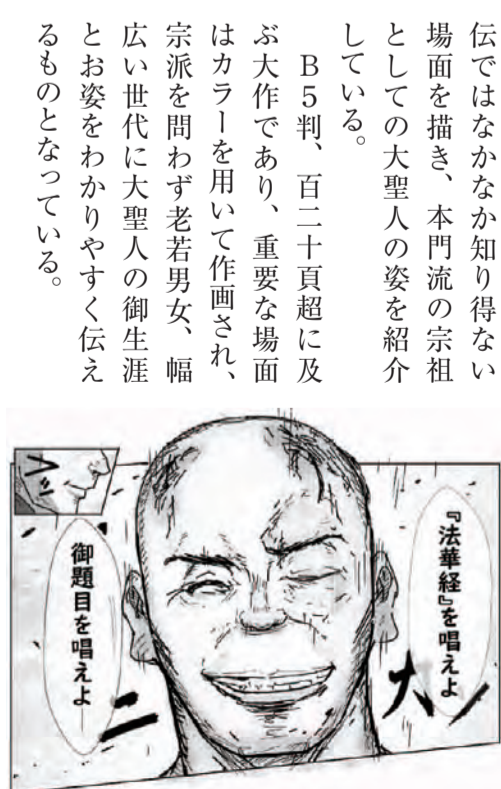
ふんだんに取り入れら

れており、大聖人と土地の

領主小早川内記との盟約に

よって建立された大本山鷲

山寺(千葉県茂原市)、富士



北麓の信者に請われてお書

きになった、大聖人染筆の

ものとしては最大のもので

ある二十八紙大曼荼羅につ

いてなど、これまでの宗祖

伝ではなかなか知り得ない

場面を描き、本門流の宗祖

としての大聖人の姿を紹介

している。

B5判、百二十頁超に及

ぶ大作であり、重要な場面

はカラーを用いて作画され、

宗派を問わず老若男女、幅

広い世代に大聖人の御生涯

とお姿をわかりやすく伝え

るものとなっている。

現在、法華宗(本門流)

宗務院にて絶賛頒布中。

問い合わせは宗務院(TEL

〇三―五六―四一三〇五五)

まで。

日蓮宗宗務院

管 長 菅野日彰 財務部長 山田光映
 宗務総長 田中恵紳 宗務総長室長 鶏内泰寛
 伝道局長 柳下俊明 現代宗教研究所長 赤堀正明
 総務局長 光岡潮慶 参 与 渡邊義生
 伝道部長 藤田尚哉 参 与 田中智海
 教務部長 川久保光隆 日蓮宗新聞社社長 安芸栄祥
 総務部長 畑 栄明

〒146-8544 東京都大田区池上一-三二-一五
 電話 〇三(三七五)七一一
 FAX 〇三(三七五)七一八六
<https://www.nichiren.or.jp>

法華宗(本門流)宗務院

管 長 小西日遼
 宗務総長 金井孝顕
 教学部長 清水常光
 布教部長 三吉廣明
 総務部長 平田義生
 財務部長 久野晃秀
 企画部長 吉崎長生

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町二一九-一
 電話 〇三(五六一四)三〇五五
 FAX 〇三(五六一四)三〇五六
<http://www.hokeshu.or.jp>

顕本法華宗宗務院

管 長 大川日仰
 宗務総長 河野時巧
 宗務次長 小松正学
 財務部長 吉田諦規
 布教部長 小川正展
 教務部長 朝倉俊泰
 庶務部長 金坂正道
 社会部長 森田修應

〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町九一
 電話 〇七五(七九二)七一七一
 FAX 〇七五(七九二)七二六七

法華宗(陣門流)宗務院

管 長 門谷日悠
 宗務総長 西山英仁
 総務部長 牧野秀成
 企画部長 金原孝宜
 財務部長 西山聡達
 教学部長 布施義高
 教化部長 松吉慶憲
 宗務参事 田中隆寛

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨五-三五-一六
 電話 〇三(三九一八)七二九〇
 FAX 〇三(三九一八)〇一一一

本門佛立宗宗務本庁

宗務総長 新井日現
 宗務副総長 永江日盡
 宗務副総長 谷 信一
 教育局長 植田日事
 弘通局長 山内日得
 総務局長 藤本日唱
 広報局長 澤田日松
 財務局長 川野辺日裕
 奉賛局長 柴崎日布

〒602-8377 京都市上京区御前通一条上る東堅町一〇番地
 電話 〇七五(四六一)一六六代
 FAX 〇七五(四六一)五九九九

日蓮本宗宗務院

管 長 丹治日遠
 宗務総長 原田智光
 財務部長 柳下正則
 総務部長

〒606-8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ル法皇寺町四四八
 電話 〇七五(七七二)三三九〇
 FAX 〇七五(七七二)五九一四

法華宗(真門流)宗務庁

管 長 上田日猷
 宗務総長 堀内浩善
 総務部長 坂本法保
 企画部長 峰尾泉栄
 教学部長 舟積法宏
 教化部長 水野智悠
 社会部長 堀 雅博
 財務部長

〒602-8447 京都市上京区智恵光院通り五辻上ル紋屋町三三〇
 電話 〇七五(四四一)五七六二
 FAX 〇七五(四四一)五六六六

本門法華宗宗務院

管 長 別所日山
 宗務総長 香川日憲
 宗務部長 増田隆雄
 総務部長 吉村日彦
 財務部長 高邊晶啓
 教務部長 山下揮正
 庶務部長 松本真隆

〒602-8418 京都市上京区寺之内通大宮東入大本山妙蓮寺内
 電話 〇七五(四五二)三五二七
 FAX 〇七五(四五二)三五九七

宗教法人 国柱会

賽 主 田中壮谷
 理事長 松浦正
 門連理事 森山真治
 門連常任理事 藤本坦孝
 門連理事 的場春奈
 編集委員

〒132-0024 東京都江戸川区一之江六一一九-一八
 電話 〇三(三五六)七二二代
 FAX 〇三(三五六)九九八〇
<http://www.kokuchukai.or.jp>

日本山妙法寺大僧伽

首 座 今井行康
 責任役員 木津博充
 同 川岸行孝
 同 武田隆雄
 同 長濱行豊
 同 行徳行得

日本山妙法寺大僧伽事務局
 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町八一七
 電話 〇三(三四六一)九三六三
 FAX 〇三(三四六一)九三六七

京都日蓮聖人門下連合会

会 長 大川日仰
 副会長 上田日瑞
 理事長 土持栄孝
 副理事長 橋本一妙

京門連事務局
 〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町九一
 電話 〇七五(七九二)七一七一
 FAX 〇七五(七九二)七二六七

大阪日蓮聖人門下懇話会

理事長 伊藤信城 問 門谷光瑞
 副理事長 藤本経尚 問 中村日游
 顧 問 木下恵温 問 東 孝信
 顧 問 藤村恵容 問 佐野貫順

〒542-0012 大阪府大阪市中央区谷町九一-一七
 電話 〇六(六七六一)七三三三
 FAX 〇六(六七六一)六六四九

日蓮宗総本山 身延山久遠寺

法主 内野日総
総務 持田日勇

〒409-2593 山梨県南巨摩郡身延町身延三五六七
電話 〇五五六(六二)一〇一一
FAX 〇五五六(六二)一〇九四

日蓮宗大本山 池上本門寺

貫首 菅野日彰
執事長 鈴木弘信
役員一同

〒146-8576 東京都大田区池上一一一一一
電話 〇三(三七五二)一三三三一
FAX 〇三(三七五二)三三五〇

法華宗(本門流)大本山 光長寺

貫首 原井日鳳
執事長 久保木学洋
辻之坊 石岡顕洋
東之坊 石田智宏
南之坊 浦邊法善
西之坊 宮村光明
書記 上野孝教

〒410-0011 静岡県沼津市岡宮一〇五五
電話 〇五五(九二二)〇四八四
FAX 〇五五(九二二)〇七三六

顕本法華宗総本山 妙満寺

貫首 大川日仰
総務 土持栄孝
執事長 中村英司
執事 湯原正純
執事 藤本慧昌
執事 足立幸謙

〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町九一
電話 〇七五(七九二)七二七一
FAX 〇七五(七九二)七二六七

法華宗(陣門流)総本山 本成寺

貫首 門谷日悠
役員一同

〒955-0845 新潟県三条市西本成寺一―一―二〇
電話 〇二五六(三三)〇〇〇八
FAX 〇二五六(三三)〇〇五九

法華宗(真門流)総本山 本隆寺

貫主 上田日猷
執事長 永岡悠希
執事 笹木研吾
執事補 矢放啓亮
参与 本多信正

〒602-8447 京都市上京区智恵光院通り五辻上ル紋屋町三三〇
電話 〇七五(四四二)五七六二
FAX 〇七五(四四二)五六六六

本門法華宗大本山 妙蓮寺

貫首 別所日山
執事長 佐野充照
役員一同

〒602-8418 京都市上京区寺ノ内通大宮東入妙蓮寺前町八七五
電話 〇七五(四五二)三三二七
FAX 〇七五(四五二)三三九七

多寶富士山 本山要法寺

貫首 丹治日遠
執事長 原田智光
執事 柳下正則

〒606-8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ル法皇寺町四四八
電話 〇七五(七七二)三三九〇
FAX 〇七五(七七二)五九一四

本門佛立宗本山 宥清寺

住職 高須日良
二十六世講有
執事長 山下日翠
事務局長 栢森良道

〒602-8336 京都市上京区二条通七本松西入滝ヶ鼻町一〇〇五一
電話 〇七五(四六三)四六二〇(代)
FAX 〇七五(四六三)四六五一

京都八本山会

会本・本山 立本寺 貫首 上田日瑞
大本山 妙顕寺 貫首 及川日周
大本山 本閉寺 貫首 早川日章
本山 本満寺 貫首 伊丹日章
本山 本法寺 貫首 瀬川日照
本山 妙覺寺 貫首 宮崎日嚴
本山 頂妙寺 貫首 田中日淳
本山 妙傳寺

京都 法華門流懇話会

法華宗(真門流) 総本山本隆寺 貫主 上田日猷
顕本法華宗 総本山妙満寺 貫首 大川日仰
法華宗(本門流) 大本山本能寺 貫首 桃井日英
法華宗(本門流) 大本山妙蓮寺 貫首 別所日山
本門法華宗 大本山妙蓮寺 貫首 丹治日遠
日蓮正宗 本山要法寺 貫首 高須日良
本門佛立宗 本山宥清寺 講有 高須日良
法華宗(陣門流) 本山本禪寺 貫首 福井日進
顕本法華宗 本山寂光寺 貫首 大川日仰

日蓮宗大本山 清澄寺

別当 金子日厚
執事長 宮崎雅宣
役員一同

〒299-5505 千葉県鴨川市清澄三二二二一
電話 〇四(七〇九四)〇五二五
FAX 〇四(七〇九四)〇五二七

宗祖御降誕靈場 日蓮宗大本山 誕生寺

宗祖御降誕八百年慶讚
貫首 石川日命
執事長 角濱監鏡

〒299-5501 千葉県鴨川市小湊一八三
電話 〇四(七〇九五)二六二一
FAX 〇四(七〇九五)二〇五五

日蓮宗靈跡本山比企谷 妙本寺

貫首 鈴木日敬

〒248-0007 神奈川県鎌倉市大町一―一五―一
電話 〇四六七(二二)〇七七七
FAX 〇四六七(二二)六九六七

日興上人御聖廟 日蓮宗大本山 富士山法華本門寺根源

貫首 旭日重
参与一同 鈴木春雄
執事長 鈴木春雄
役員一同

〒418-0112 静岡県富士宮市北山四九六五
電話 〇五四四(五八)一〇〇四
FAX 〇五四四(五八)〇三〇三

日蓮宗大本山 中山法華経寺

貫首 新井日湛
参与 田代浩敬
参与 植田観樹
参与 松本慈恵
参与 関観亮

〒272-0813 千葉県市川市中山二―一〇―一
電話 〇四七(三三四)三三三三
FAX 〇四七(三三四)一七九六

やくよけ祖師 日蓮宗本山 堀之内妙法寺

貫首 山田日潮

〒166-0013 東京都杉並区堀之内三一四八―八
電話 〇三(三三三)六二四一
FAX 〇三(三三三)五〇〇七

日蓮門下お題目初唱之霊場 日蓮宗本山東身延 藻原寺

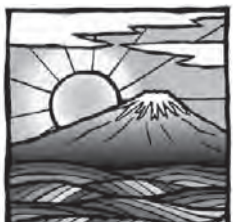
貫首 持田日勇
総務 増田寶泉
執事 富永一道
執事 中川貫泰

〒297-0026 千葉県茂原市茂原一―一〇―一
電話 〇四七五(二二)三一五三
FAX 〇四七五(二二)一一七三

徳川家康公報恩創建 日蓮宗由緒寺院 瑞輪寺

貫首 井上日修
執事長 稲荷泰雅

〒110-0001 東京都台東区谷中四―二―一五
電話 〇三(三八二)四三七三
FAX 〇三(三八二)七〇三三



門連時報

京都日蓮聖人門下連合会 事業開催

日蓮大聖人御会式法要

十月二日、京都市上京区日蓮宗本山妙覺寺に於いて、京都日蓮聖人門下連合会主催・京都日蓮聖人門下本山会後援のもと宗祖御入滅第七百四十年御会式法要を執り行った。

当日は雲一つない快晴に恵まれ三十度近い暑い日であった。そんな秋晴れの中、宮崎日嚴親下大導師、橋本一妙・佐野充照正副理事長を協導師に法要を開式した。

門下本山会各貫首親下、京都門連役員、また有縁の關係各聖約五十人が異体同心で宗祖の遺徳を偲び、お題目を唱え報恩感謝の誠を捧げた。

まだまだコロナウイルス蔓延が収まらない中での法要であったが、三密を避け檀信徒は無参拝とし、唱題行脚や万灯練り供養、さらに法話も中止された。



大阪日蓮聖人門下懇話会 事業開催

第三十四回総会

コロナウイルス感染症感染拡大のため令和二年度同様、「顧問・理事会」を総会代行として開催予定も、緊急事態宣言下という状況を考慮し、書面による議決を行う。令和二年度活動・決算報告と令和三年度活動計画等、全議案について顧問・理事全員の承認を以て可決・了承された。

第二十九回 報恩合同御会式

令和三年十一月十四日(日)午後三時より、大阪市中央区谷町・法華宗本門流妙法寺において、伊藤信城理事長を導師に奉行された。しかしながら、コロナウイルス蔓延防止の観点から、檀信徒は参詣せず、執行部・顧問・理事十五名のみで修行した。

第三十二回研修会

毎年度、年末に懇親を兼ねて開催しているが、今年度は令和四年二月二十八日(月)に開催予定。開催場所は、大阪市中央区谷町・妙法寺。講師は法華宗本門流・堺頭本寺住職・菅原善隆師。講題は「日蓮門下と三好氏(仮題)」。

第二十四回 本山由緒寺院参拝日帰りバスツアー

令和元年度事業であったが、催行延期されていた「日蓮宗本山・立本寺および伏見桃山御陵参拝(伏見散策)」を令

和四年三月二十八日に催行予定。催行決定はコロナウイルス蔓延状況を鑑み、二月末に執行部にて判断する。

「思想としての法華経展」 監修・仏教思想研究家植木雅俊」公式展示 図録好評販売中

京都佛立ミュージアムにて令和三年七月十日より開催中の「思想としての法華経展」展示図録が刊行された。この展示は高祖日蓮大士御降誕八〇〇年慶讃記念展示として仏教思想研究家植木雅俊氏の監修にて開催されている(開期は令和四年二月十六日まで)。

植木氏は一九九一年より東方学院中村元氏のもとでサンクリット語を学び、「梵漢和对照・現代語訳法華経」や「日蓮の手紙」などの著書を持つ。

本展示は植木氏の著書「思想としての法華経」を中心に、「法華経」に込められた思想、編纂の背景や意図、普遍的な教えについて紹介されている。

今回刊行された図録には展示されていた第一章から第五章までが掲載され、さらには



(<https://store.shopping.yahoo.co.jp/hbsmuseum/>)

門下連合会常任理事 二瓶海照上人御遷化

門下連合会常任理事、二瓶海照上人が去る令和三年十一月十三日に遷化された。世壽七十七歳。昭和四十年に富山県信行寺住職に就任。平成二十一年より三期(十二年)に亘り法華宗(本門流)宗務総長を務められた。

門下連合会顧問 奥邨正寛上人御遷化

門下連合会顧問、奥邨正寛上人が去る令和四年一月二十六日に遷化された。世壽八十八歳。昭和五十三年に大阪府正蓮寺住職に就任。平成五年に日蓮宗宗務総長に就任。門下連合会理事長、日蓮宗大本山清澄寺別当、日蓮宗宗務顧問、大阪日蓮聖人門下懇話会顧問等の要職を歴任された。

京都佛立ミュージアムオンラインショップ



年月日	氏名	宗派	門連役職
令和三・一〇・一三	永江日盡	本門佛立宗	常任理事
令和三・一〇・一三	加藤日感	本門佛立宗	理事
令和三・一〇・一三	山口淳節	本門佛立宗	理事
令和三・一〇・一三	江内良鷲	本門佛立宗	理事
令和三・一〇・一三	中川法政	日蓮宗	常任理事
令和三・一〇・一三	木内隆志	日蓮宗	常任理事
令和三・一〇・一三	田中恵紳	日蓮宗	常任理事
令和三・一〇・一三	鶏内泰寛	日蓮宗	常任理事
令和四・一・一	橋本一妙	京門連	常任理事
令和四・一・一	土持榮孝	京門連	常任理事
令和四・一・一	佐野充照	京門連	理事
令和四・一・一	橋本一妙	京門連	理事
令和四・一・一〇	金井孝顕	法華宗(本門流)	常任理事
令和四・一・一〇	奥邨正寛	法華宗(本門流)	顧問

ご家族と共に子孫に伝える信仰の証

日蓮宗全国五十七箇本山 御朱印めぐりセット

日蓮宗の本山五十七箇寺を巡り五十七紙の貫首さまの御首題に御朱印を拜受し巡る生涯忘れ得ぬ感動の旅を



※セット内容イメージ

監修 日蓮宗全国本山会

【セット内容】(箱入り)
57本山貫首さまの御首題 57紙+白紙3枚 計60枚
御首題携行帳 3帳(予備2帳)
参拝案内カード 57種(最新地図・交通情報)
手引書 1冊
※参拝のワンポイント・団参コース等の案内

頒価2,200円(税込・送料別)

全国日蓮宗本山会監修

日蓮宗 本山

御朱印めぐり

頒価 3,300円 (税込・送料別)

「全国五十七本山めぐり」完全対応・必携の書。

日蓮宗五十七本山の伝記と歴史の旅案内。幾星霜、信仰を支えてきた縁に映える伽藍の偉容、日蓮聖人とお弟子たちの歴史への旅案内。



各派・教団・短信

日本山妙法寺

令和三年
一月十日

一月二十二日 核兵器禁止条約発効の日をめざす(ニューヨーク国連に向けて) 平和行進を歩む。

二月二十五日 悲母行阿院日蘇大法尼第九十二回忌追孝報恩法要を静岡県熱海道場にて厳修。

二月十一日(三月一日) 二〇二一ビニデー東京(焼津平和行進を歩む)。

二月十六日 小湊仏舍利塔五十周年記念法要を厳修。

四月二十九日 恩師行勝院日達聖人第三十七回忌追孝報恩大法要を千葉県清澄山道場にて厳修。

六月四日(六月二十三日) 二〇二一東アジア平和行進・沖縄島を歩む。

七月四日(八月九日) 二〇二一東京(広島・長崎平和行進を歩む)。

八月六日 広島仏舍利塔五十周年記念法要を厳修。

八月八日 長崎仏舍利塔五十周年記念法要を厳修。

八月二十四日 西天開教第九十一周年記念法要を静岡県熱海道場にて厳修。

九月十二日 佐渡仏舍利塔第四十周年記念法要を厳修。

十月三日 水俣仏舍利塔落慶

法要を厳修。

十月二十五日 インド国王舎城仏舍利塔第五十二周年記念法要を厳修。

十一月一日 インド国ダージリン仏舍利塔第二十九周年記念法要を厳修。

十二月二十一日 ネパール国ルンビニ仏舍利塔第二十周年記念法要を厳修。

十二月二十五日 ネパール国ポカラ仏舍利塔第二十周年記念法要を厳修。

(江上彰)

京都門下連合会

令和四年度行事予定

一月十七日(月) 新年理事会(本能寺大宝殿) 今年度会長大川日仰院下、副会長上田日瑞院下、理事長土持栄孝師、副理事長橋本一妙師。

二月十六日(水) 総会(顕本法華宗総本山山妙満寺)。

同日 御降誕会(顕本法華宗総本山山妙満寺) 導師妙満寺貫首大川日仰院下、講師日蓮宗本山貫首院下。

三月七日(月) 理事会(本能寺大宝殿) 立教開宗会の件夏季大学の件。

四月二十八日(木) 立教開宗会(比叡山横川定光院) 導師法華宗本山貫首院下、講師日蓮宗布教師、後観光。

六月六日(月) 理事会(本能寺大宝殿) 夏季大学の件、御会式の件。

六月中旬予定 門下本山会主催 当番顕本法華宗総本山山妙満寺。

六月頃予定 全門連身延理事會(身延山久遠寺) 会長、理事長等出席予定。

八月二十七日(土) 夏季大学(ホテル本能寺三階) 講師大川日仰院下(総本山山妙満寺貫首) その他講師未定。

同日 理事会(本能寺大宝殿) 御会式の件。

九月三十日(金) 御会式奉行委員会(顕本法華宗総本山山妙満寺) 御会式準備、打合せ。

十月一日(土) 御会式(顕本法華宗総本山山妙満寺) 導師妙満寺貫首大川日仰院下、講師日蓮宗本山貫首院下。

十月下旬予定 全門連京都理事會(顕本法華宗総本山山妙満寺)。

十二月中旬予定 理事会(本能寺大宝殿) 行事報告、会計報告の件。

十二月下旬予定 門下本山会主催 当番日蓮宗本山立本寺。

十二月二十四日(土) 会計監査(日蓮宗宗務所)。

(永岡龍明)

日蓮宗

十二月二十

宗務総長就任に伴い、新たに宗務役員も決定。伝道局長に柳下俊明師、総務局長に光岡潮慶師、伝道部長に藤田尚哉師、教務部長に川久保光隆師、総務部長に畑栄明師、財務部長に山田光映師、宗務総長室長に鶏内泰寛師、現代宗教研究所長に赤堀正明師。また日蓮宗新聞社社長には安芸栄祥師が就任した。

(大澤宏明)

十一月十三日 法華宗(本門流) 日 法華宗(本門流) 宗務総長、二瓶海照台下(廣大院日照上人) 遷化。法寿七十七歳。

十二月九日 法華宗(本門流) 宗務総長、二瓶海照台下(廣大院日照上人)、法華宗宗務院、学校法人法華学園合同葬を法華宗管長、大本山本興寺御貫首小西日遠院下御導師のもと奉修(於：大本山本興寺)。

一月二十日 第二十代宗務総長に神戸感應寺住職、金井孝顕上人が就任。任期は四年。

二月十四日 興隆学林専門学

校後期授業開始

三月四日 興隆学林専門学校令和三年度卒業式

三月十一日 東日本大震災慰霊・東京大空襲慰霊法要(於：法華宗宗務院)

四月五日 宗祖日蓮大聖人聖誕八百年記念法要(於：大本山光長寺)

四月十一日 千鳥ヶ淵戦没者慰霊法要

四月十二日 興隆学林専門学校令和四年度入学式

五月十三日 第四百四代法華宗管長に大本山本能寺御貫首、桃井日英院下が就任

六月四日(五日) 宗祖日蓮大聖人聖誕八百年記念法要(於：大本山本能寺)

六月十一日 宗祖日蓮大聖人聖誕八百年記念法要並びに新本堂落慶法要(於：大本山鷲山寺) ※行事については予定を含みま

す。お問い合わせは各御本山もしくは宗務院(0356143055)まで

十月二十九日(金)、オンラインにおいて全国布教師研修会並びに布教師会総会開催された。研修会では、特命布教師・川崎英真師(千葉・龍教寺)を講師に迎え、「御本尊集・史料集」についての説明」と題する講義が行われ、その後総会が開催された。

十二月四日(木) オンラインにおいて東部・西部教区合同布教師講習会が開催された。外部講師・大谷栄一教授(京都・佛教学)を講師に迎え、「本多日生上人の生涯」と立正大師諡号宣下」と題する講義が行われた。

九月六日、新型コロナウイルス感染症対策のため、宗内全教師を対象とした中央行学講習

会はオンライン開催となった。開講式に引き続き第一講義では宗学研究所所員竹内敬雅先生による「人口減少社会と法華宗の未来」、第二講義では花野充道先生による「現代における本迹一致勝劣論争」の講義でお話頂いた。多人数同時接続でのオンライン講習会は初めての試みであったが無事終了した。

十一月十五日、研究発表会がオンラインにて開催された。

十一月十五日、宗学研究所委員会がオンラインにて開催された。

十一月十六日、学林教授会がオンラインにて開催された。

十一月二十六日、布教研究所報編集会議が宗務院において開催された。

十二月二日(三日)、新任職・学生・沙弥合同研修会が昨年同様オンラインで開催された。教

学だけでなく、講師の体験を交えた布教活動の実践についての講義や弁護士による寺院と法律に関する講義を受け、新任職は研鑽に励んだ。

(竹内敬雅)

去る1月30日、法寿90歳をもちつご遷化あそばされた佛立第24世講有・小山日誠上人の宗葬儀が、令和3年9月29日、本山宥清寺御宝前において、佛立第26世講有日良上人導師のもと、宗門諸役員はじめ、本山並びにご自坊・清雄寺のご信者代表等の参列のもと、厳かに営まれた。

8月6日から8日まで「学徒研修会」・「見習い教務養成所」が行われた。参加者は約30名が参加であった。本来は本山・宥清寺を会場に開催の予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大により、昨年同様にオンライン講義となった。実際に本山にて一同に会しての研修に劣らない中

身の濃いオンライン講義が展開された。

10月13日より宗務総長に新井日現導師が就任され内局が発足された。期間は、令和6年10月12日までの3年間となる。

令和3(2021)年11月28日、仏教思想研究家 植木雅俊第2回特別講演会が開催された。今展示の開催を記念して、7月11日に展示監修の仏教思想研究家・植木雅俊先生の特別講演会が好評で、さらなる深いお話を望む有り難いお声をいただいたため、このたび第2回特別講演会を開催が実現された。

(松本現薫)

九月九日、宗務庁に於いて新内局の発足。

十月六日(十四日)、総本山本隆寺に於いて、秋季学林開講。

十月十二(十三日)、総本山本隆寺に於いて、秋季大会奉修。

十一月一日、月旦大國禱。三

日、明治節慶讃法要・賽主以下有志明治神宮代表参拝。十一日、小松原法難会慶讃法要。十六日、恩師田中智学先生御速夜法要。

十一月一日、月旦大國禱。三

十二月二日(三日)、「令和三年度定期宗会」開催。

一月一日(八日)、総本山本隆寺に於いて、年頭國禱会・法華八講開催。

(矢放啓亮)

十月十二日、大本山妙蓮寺(別所日山貫首)に於いて、宗祖日蓮大聖人御会式法要を奉修。

十一月十二日、大本山妙蓮寺に於いて御開山日像菩薩御報恩法要並びに三師会・歴代人法要を奉修。

本門法華宗(渡辺日恩学院長) 第七十九回教学講習会を十一月三十日、オンラインで開催。

機関紙「信行」 第九十六号、布教誌「生きる」 第七十七号、を一月一日に発行。

(吉村光敬)

令和三年八月一日、月旦大國禱。十五日、孟蘭盆開頭大供養会。十七日、恩師忌。二十六日、田中香浦先生第二十六回忌追善法要。

九月一日、月旦大國禱。十日、坂井道夫講師正葬儀(於：国柱会九州地方連合局妙梳舎) に賽主出席厳修。門連機関紙編集委員会(オンライン会議) に、森山真治編集委員出席。十二日、龍口法難会慶讃法要。十六日、門連身延理事会(於：大祖廟・久遠寺) に、森山真治常任理事出席。十七日、恩師忌。二十三日、秋季彼岸大供養会。

十月一日、月旦大國禱。十日、佐渡法難会慶讃法要。十二日、日蓮聖人御速夜法要。

十三日、日蓮聖人鶴林会報恩大法要。十七日、恩師忌・妙宗大靈廟例月供養会。

十一月一日、月旦大國禱。三

日、明治節慶讃法要・賽主以下有志明治神宮代表参拝。十一日、小松原法難会慶讃法要。十六日、恩師田中智学先生御速夜法要。

十一月一日、月旦大國禱。三

十二月一日、月旦大國禱。十八日、妙宗大靈廟例月供養会。三十一日、福茶の会。送旧迎新式。(森山真治)

十二月一日、月旦大國禱。十八日、妙宗大靈廟例月供養会。三十一日、福茶の会。送旧迎新式。(森山真治)

十二月一日、月旦大國禱。十八日、妙宗大靈廟例月供養会。三十一日、福茶の会。送旧迎新式。(森山真治)

十二月一日、月旦大國禱。十八日、妙宗大靈廟例月供養会。三十一日、福茶の会。送旧迎新式。(森山真治)

十二月一日、月旦大國禱。十八日、妙宗大靈廟例月供養会。三十一日、福茶の会。送旧迎新式。(森山真治)

十二月一日、月旦大國禱。十八日、妙宗大靈廟例月供養会。三十一日、福茶の会。送旧迎新式。(森山真治)

十二月一日、月旦大國禱。十八日、妙宗大靈廟例月供養会。三十一日、福茶の会。送旧迎新式。(森山真治)

十二月一日、月旦大國禱。十八日、妙宗大靈廟例月供養会。三十一日、福茶の会。送旧迎新式。(森山真治)

十二月一日、月旦大國禱。十八日、妙宗大靈廟例月供養会。三十一日、福茶の会。送旧迎新式。(森山真治)

十二月一日、月旦大國禱。十八日、妙宗大靈廟例月供養会。三十一日、福茶の会。送旧迎新式。(森山真治)

十二月一日、月旦大國禱。十八日、妙宗大靈廟例月供養会。三十一日、福茶の会。送旧迎新式。(森山真治)